

キーワードでみる小学校・中学校の目標・指導内容の系統表④ 「伝統的な言語文化」編

	小項目*	小1・2	小3・4	小5・6	中1	中2	中3	高校(国語総合)
(ア)の指導事項	学習対象	昔話や神話・伝承などの本や文章	易しい文語調の短歌や俳句	親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章	古文や漢文	古典	古典	
	学習内容		情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら	内容の大体を知り	文語のきまりや訓読の仕方を知り、古典特有のリズムを味わいながら	作品の特徴を生かし	歴史的背景などに注意して	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き
	学習活動	読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりする	音読や暗唱をしたりする	音読すること	音読して古典の世界に触れる	朗読するなどして古典の世界を楽しむ	その世界に親しむ	伝統的な言語文化への興味・関心を広げる
(イ)の指導事項	学習対象		長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語など	古典について解説した文章	古典	古典	古典	文語のきまり、訓読のきまりなどを
	学習活動		意味を知り、使う	昔の人のものの見方や感じ方を知る	様々な種類の作品があることを知る	古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像する	古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書く	理解する

* 指導内容の小項目については、学習指導要領や解説に明記されている項目ではありません。系統を細かく見るために、分析の視点として便宜上分けたものですので、留意してください。